(第二面　別紙(共同住宅用))

【設計住宅性能評価を希望する性能表示事項】

１．構造の安定に関すること

□１－２耐震等級(構造躯体の損傷防止)

□１－４耐風等級　(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)

　□１－５耐積雪等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)

２．火災時の安全に関すること

□ ２－１ 感知警報装置設置等級(自住戸火災時)

□ ２－２ 感知警報装置設置等級(他住戸火災時)

□ ２－３ 避難安全対策(住戸等火災時・共用廊下)

□ ２－４ 脱出対策(火災時)

□ ２－５ 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部))

□ ２－６ 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部以外))

　□ ２－７ 耐火等級(界壁及び界床)

４．維持管理・更新への配慮に関すること

　□４－４更新対策(住戸専用部)

６空気環境に関すること

□６－１ ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)

　□６－２ 換気対策

７．光・視環境に関すること

□７－１ 単純開口率

　□７－２ 方位別開口比

８．音環境に関すること

□８－１ 重量床衝撃音対策

□８－２ 軽量床衝撃音対策

□８－３ 透過損失等級(界壁)

　□８－４ 透過損失等級(外壁開口部)

９．高齢者等への配慮に関すること

□９－１ 高齢者等配慮対策等級(専用部分)

　□９－２ 高齢者等配慮対策等級(共用部分)

１０．防犯に関すること

　□１０－１　開口部の侵入防止対策

(注意)

　選択を希望する性能表示事項のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

【地盤の液状化に関する情報提供】

□ 地盤の液状化に関する情報提供を行う(情報提供の内容は申出書による)

□ 地盤の液状化に関する情報提供を行わない

(注意)

情報提供について、いずれかのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。